

在学生から皆さんに伝えたい事

何にでもチャレンジ!!
たくさんさんの経験を!!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ご入学された皆さんはきっと、夢と希望に満ち心躍る気持ちでいっぱいな反面、不安や緊張を抱えられていると思います。私たち新入生歓迎実行委員会は、Team Y.A.O. (チーム ワイエーオー)・文化会・体育会・大学祭実行委員会の4団体他の有志が集結し、



新入生の皆さんの今後のキャンパスライフを有意義に過ごしていただくために、入学式で新入生の皆さんにこの大阪大谷大学の雰囲気や良いところをお伝えすると共に、各種委員会や活動団体の日々の活動も伝える為、入学式の2か月前から企画を考え、ミーティング等を通して議論を重ねてきました。不安と緊張の面持ちで入学式を迎えられていると思われ



る新入生の皆さんに、リラックスしていただいて、大阪大谷大学の雰囲気を存分に伝えられるかを第一に考えて、厳かに行われる入学式で、私達が新入生の皆さんの気持ちを代弁し、記憶に残る入学式にさせていただけたらと考えています。大学は高校とは違い自分たちで考えて行動していくことで、いろんな場で活躍でき、また、自分の成長につながります。大学生活の充実した過ごし方や、各委員会・クラブ・サークルなどどのような活動をしているのか、私達が大学生活の中で身につけたことをみなさんに伝えていきます！



平成30年度 大阪大谷大学 入学式 学長式辞



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大阪大谷大学の教職員を代表して、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。これまでお子様を支えてこられた、ご父母をはじめとするご家族の皆様にも、心から御祝いを申し上げます。大阪大谷大学は、本年平成30年度で、創立52周年を迎えました。1966年、大谷女子大学として発足した本学は、約50年の時を経て、1学部2学科の単科大学から、4学部6学科と大学院を有する総合大学へと発展してまいりました。

本学の特徴は、建学の精神「報恩感謝」に基づく人間教育と、専門的知識を実践力に高める「自立」「創造」「共生」という理念を実現する教育にあります。「報恩感謝」の心は、自分が無数の「いのち」を支えられていることを自覚し、その恩をたずね、感謝の心を捧げつつ生きていくこと、ということです。

平成30年4月3日 大阪大谷大学学長 浅尾広良

Message from students



文化会 文学部 日本語日本文学科 2年生 前田梨帆

新入生のみならずご入学おめでとうございます。皆さんはこれからの大学生活に期待と希望をもつて、また新たな決意を持って入学されたと思います。他方、緊張と不安を持たれて今日この日を迎えているのではないのでしょうか。

1年前、私もみなさんと同じ新入生でした。ついこの間のように思います。右も左もわからず、何事も手探りで行動していました。そんな私がこの1年間でどのようなことに取り組んできたのか、紹介しようと思います。今後の大学生活を送るうえで、少しでも皆さんの大学生活が充実したものになればという想いからお伝えします。私は、入学を機会に何にでも挑戦してみようと思いい、文化会という委員会に所属しました。文化会とは、文化系の部活動団体をサポートする委員会です。私は今まで、委員会活動とは切無縁の高校生活を送っていたので、何をしても良いのかも分からず、不安しかありませんでした。月日がたつにつれて、少しずつ慣れていき、先輩にわからないことを尋ねたり、相談したりしながら、少しずつですが課題を成し遂げることができました。そして、地域との交流やイベントなどを通じて、二から形に楽しく実感することができました。また、大学での入学式や、行政ボランティアなどの行事にも参加する機会もあり、いろいろな人と関わり、体験するきっかけを得ることができました。

私にとって、この1年間の大学生活は、今までにない体験ばかりでした。今でも右往左往することがあります。しかし、それは自分自身にとっての新しい経験だからだと思います。取り組んでいるときは必死で何が何だかわかりませんが、それを振り返ると楽しかった思い出になっています。少しやってみようとする。歩さえあれば、何事もできることを発見しました。さらに、そこに相談できる仲間がいれば最高です。また、少しの勇氣さえあれば、いろいろなことにチャレンジすることができるともわかりました。

大学生活には自由な時間がたくさんあります。それをどのようにして使うのかはみなさん次第です。勉強はもちろんと大事なことですが、またアルバイトもあると思いますが、やりたいことを見つけ、やってみたいことがあればどんなにチャレンジしてみてください。それによって自分自身の得意なところ、苦手なところ、いろいろ見えてくると思います。少しの勇氣を持つことによって、また、それを磨くことで苦手を克服することもできます。みなさんは勇氣と希望をもって最高の大学生活をエンジョイしてください。

大阪大谷大学では課外活動を行う4委員会が活躍中!

Team Y.A.O.



泉北でのイベントや、羽曳野フェスティバルに実行委員会としての参画。学内・学外で「劇団ボリス」としての劇団員、「青パト ドーナツ」の地域見守り隊の一員として、さらにキャンパス事業等に、さまざまな分野・視点からいろいろな活動に取り組んでいます。ボランティア活動で、イベントをどのように動かす、どのように進めていくのかを考え行動しています。また、大学の活動団体を活性化させることを目標に発表の場を作り、団体の活動を応援しています。

説明会

日時 4月19日(木) 12:25~
場所 1-201(F)教室

大学祭実行委員会



11月におこなわれる大学祭を盛り上げ、成功させるため日々活動しています。業者さんや行政の方と関わることもあるので、ふつうの学生生活では経験できない社会のことを学びながら課題や目標を一つずつクリアしています。また他の委員会や団体さんと協力して、地域のボランティア活動に参加しています。大学祭が少しでも良くなるように、新しい企画の立案などたくさんの方にチャレンジしています。

説明会

日時 4月24日(火) 12:25~
場所 1-201(F)教室

文化会



文化会は、主に文化系団体の活性化・サポートを目的に活動しています。主に「補助金の配布」、「文化会諸行事の立案・提案・運営」、また、部活動訪問をしたり、部活動新聞を作成したりすることで、各文化系団体の活動を多くの方に広報しています。さらに、大学周辺地域のボランティアに参加したり、リーダーズトレーニングを開催したり、他の委員会と連携して大学行事を運営しています。

説明会

日時 4月12日(木) 12:25~
場所 1-201(F)教室

体育会



体育会は大谷大学体育会に所属する26団体の活動支援に尽力しています。「戦績・活動内容の管理共有」、「スポーツや団体運営に関する意見交換・共有」などを行っています。リーダーズトレーニング、駅伝大会、体育会総会など、体育系団体を対象とした多様な事業を展開しています。また、各団体同士・大学・学外とのパイプ役を担っており、各団体がより有意義な活動ができるようサポートしています。

説明会

日時 4月17日(火) 12:25~
場所 1-201(F)教室

日本語日本文学科



堀川 智司君

歴史文化学科



大谷 舞さん

教育学科



福井 拓大君

人間社会学科



須甲 麻友加さん

スポーツ健康学科



佐藤 清志郎君

薬学科



東園 紗耶代さん

各学科からイキイキ学生を紹介!!

「自分」ではなく「人」のために

文学部 日本語日本文学科 3回生 堀川 智司



二年前、入学と同時に硬式野球部に入部しました。入部してすぐリーグ戦のメンバーに選ばれ、それから自分の結果だけを気にしながら好き勝手にプレーしてきました。

初めてレギュラーとして出場した二回生の秋リーグ。自分の力のなさと二人では何もできないことを実感しました。このリーグ戦は、今までの自分の考え方を変えるきっかけとなりました。好き勝手を許してくれた先輩、いろんな場面で支えられた同学年、自分を変えるきっかけくれた後輩、野球部を応援して下さる大学関係者の方々、家族はもちろん、自分を応援して下さる人たちのためにプレーしようと思いました。人のためにプレーしていると、練習中の自己満足がなくなり、チームのために自分は何が出来るのかということを考えることが多くなりました。またチームとして勝つことが、支えて下さる方々への恩返しだと思っプレーしていきたいと思いました。

四月一日から始まるリーグ戦ではチーム一丸となり、先輩たちが成し遂げられなかった二部昇格を目指し、大学を代表するクラブになれるよう頑張りたいと思います。また自分達のためではなく、応援して下さる方々のために活動するチームになれるように日々努力していきます。

新入生の皆さん

文学部 歴史文化学科 4回生 大谷 舞

新入生の皆さん、とうとう大学生活が始まりましたね。新しい環境に慣れない人もいます。私もそうでした。でもそれは無限に続く時間ではありません。これから4年間という長い時間、大学生活に不安な人も楽しみな人も、まずは少しずつでも自発的に動いてみてください。今日から始まる大学生活を充実させる為に、少しでも興味を持ったことはとことん追求してみてください。私も今、たくさんことをしています。中学生から続けている大好きな吹奏楽部や美術部に所属したり、学科で考古学という分野に触れ、測量調査や発掘調査にも行きます。去年は新しいことをやってみようと思っ、オープンキャンパスにスタッフとして参加しました。さらにG.A.O.Sという大学行事を手伝ったり、フィールドワークに行くサークルにも入部しました。アルバイトだつてしています。他にもたくさんありますがとにかく自分がやりたいことを目標としています。

同じ学科、同じ学年以外との交流もたくさんあります。素敵な出会いが待っています。



私は、大学で3年間過ごしてもまだ足りないことがたくさんあります。今年就職活動も始まります。限られた時間の中でも、もっと新しいことに挑戦したいと思っ、います。新入生の皆さんも、自分のやりたいことを見つけて、4年間充実した大学生活を送ってください。

聴覚障がいや手話をもっと知ってもらいたい

教育学部 教育学科 3回生 福井 拓大



僕が入学する時、今までと違って、近隣県から来る人もいれば遠方から来る人もいたので仲よくなるだろうか、ましてや自分は聴覚障がいがあるので、分かってもらえるだろうかという心配がありました。けど、特別支援や福祉に興味のある人が多くて、手話に興味を持ちたり、ゆつくり話してくれたり普通に受け入れて、困ったことがあれば助けてくれる友達ばかりでした。

大学から手話を覚えはじめ、今は手話を通して、近畿内でもたくさんいる聴覚障がいがある大学生と、聴覚障がいではなく、手話に興味がある大学生と大学を越えて交流しています。また、手話歌や手話コンテストや手話エンターテイメントを発信する団体で「手話エンターテイメント発信団 o i o i」に在籍しています。活動理念は「聞こえる人と聞こえない人の間にある偏見や誤解などの心のバリアをおろすこと」。手話でかこい！聴覚障がい者ってこんなにしゃべる人もいるんだ！というパフォーマンスを通じて多くの人に知ってもらいたいと思っやっています。

そして、僕はラグビーをしていて、そのチームはみんな聴覚障がいがあるメンバーが集まっています。4月末にオーストラリアでWorld Dearth rugby Ts という世界大会に参加します！

聴覚障がいや手話についてたくさんの人に知ってもらいたい。自ら発信していきたい。自ら発信していき情報保障のスキルやサポートの在り方を充実させていきたいと思っしています。

毎日が新鮮と戸惑い

人間社会学部 人間社会学科 3回生 須甲 麻友加



私は長野から大阪に来て、毎日が新鮮で珍しいものばかりで、戸惑いの連続でした。もちろん、地元友達は一人もいなかったんで、入学式は「やっ」と大学生だ!!という嬉しい気持ちと「知らない子ばかりだし関西弁分らないし、やっというのか」という不安の気持ちがありました。けれど、同じ学科の子達が話しかけてくれて、関西人のコミュニケーション能力の高さに驚きました。それと同時に、これからの大学生活楽しめよう。面白そうと感じました。

私はラクロス部に所属し、日々練習に取り組んでいます。その中で主務という重要な役割も担っている中で、プレーの面でも役職の面でもチームを支えることにやりがいを感じています。ラクロスを通じて学ぶことも多いので、入部してよかったと思っしています。また私は大学に入るまでは、スポーツについて学びたいと考えていましたが、入学後、社会福祉の講義を受けて二変し、社会福祉士になりたいと思っ始めました。現在は国家資格取得のため、日々勉強に励んでいます。

今後は、ラクロスでは二部昇格という目標を達成するためチームに貢献すること、社会福祉士の資格を取得し、高齢者や障がい者・子どもたちの支援に携わること目標に、これからの学生生活を過ごしていきたいです。

充実した学生生活を

人間社会学部 スポーツ健康学科 4回生 佐藤 清志郎



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。自分自身の入学時を振り返ると、入学式当日の朝、これから始まる大学生活に期待を胸に膨らませていた反面、不安で心が切れそうでした。

自分からコミュニケーションを図ることが苦手で、また、周りの人がみんな自分より凄く見え、また、大学生活についていけるだろうか心配しましたが、あまり考え過ぎると落ち込んでしまっているので、余計な事を考えずフレッシュマンキャンプに参加しました。

先輩方に大学での授業や学生生活について色々ご教示いただき、友だちも直ぐにでき、毎日が楽しかったのを覚えています。

今は、軟式野球部の主将を務め、体育会という体育会系のクラブの代表として様々な活動をしています。

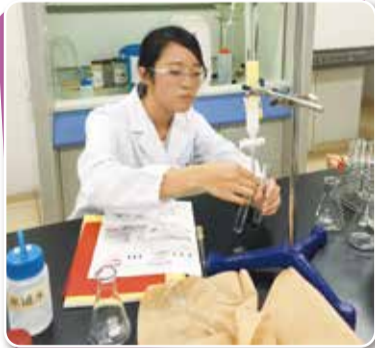
結果、自分発信でコミュニケーションを図ることが上手になりました。

組織のトップに立つ難しさや、やりがいを経験することができました。とても貴重な経験ができるこの大阪大谷大学で新入生の皆さんも充実した学生生活を送ってください。

もし学内で私の顔を見かけたら気軽に声をかけてくださいね!!

自らの夢の実現に

薬学部 薬学科 4回生 東園 紗耶代



入学時、私は、自ら進みたいと思っ選んだ薬学部の一員になれる嬉しさと、夢を実現するために、どのようなことが学べるのだろうかという期待でいっぱいでした。また、夢を実現するためにも6年間多くのことを学び、必ず薬剤師になるんだと思っしていました。

今、私は、その薬剤師になるという夢に向かって、まず、日々の授業を大切にすることを掛け、授業内で覚えられることは覚えるようにしています。また、放課後、友人と共に時間を決めて残り、日常的に学習する習慣を身につけ、分からないことはそのままにせず、先生や友人に質問することで、しっかりと理解できるように心掛けています。他には、オープンキャンパスのスタッフを進んで行い、人と関わる機会を増やすことで、コミュニケーション能力の向上に努めています。

今後はまず、目の前にあるCBT、OSCEに向けて着実に知識を増やし、その知識を自らのものにするのが目標です。しかし、最終的な目標としては、薬剤師免許を取得すること、患者さんが気軽に相談できるような薬剤師になることです。

大阪大谷大学 博物館 平成30年度春季特別展

鶏林の考古学

入館無料

演題 目・韓窰業生産の開始と展開
講師 植野 浩三 氏(奈良大学文学部教授)

展示期間 4月3日(火)～6月22日(金)
※期間中の土曜日は午後も開館します。

休館日 日曜日・祝日

開館時間 午前10時～午後4時

博物館講座 4月28日(土) 午後2:00～
事前申込み不要